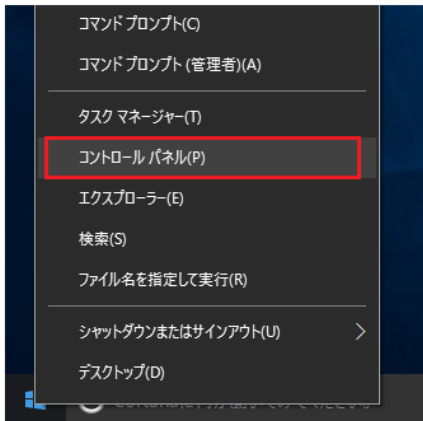


システム修復ディスクの作成方法

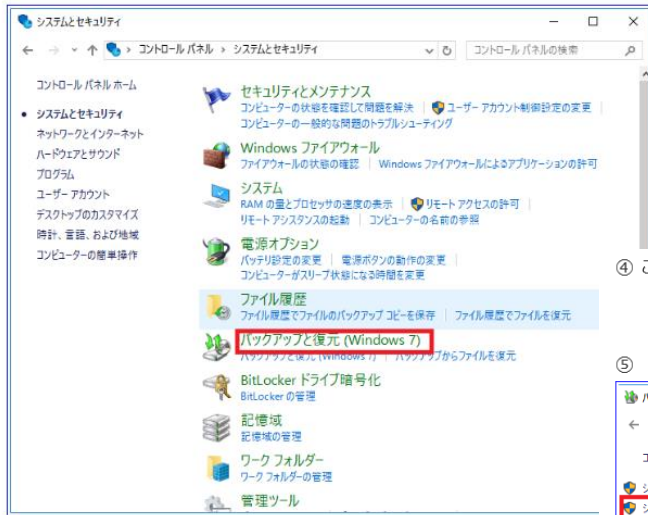
① スタートボタンを右クリック > コントロールパネルを選択します。



② 「システムとセキュリティ」 をクリックします。



③ 「バックアップと復元」 をクリックします。

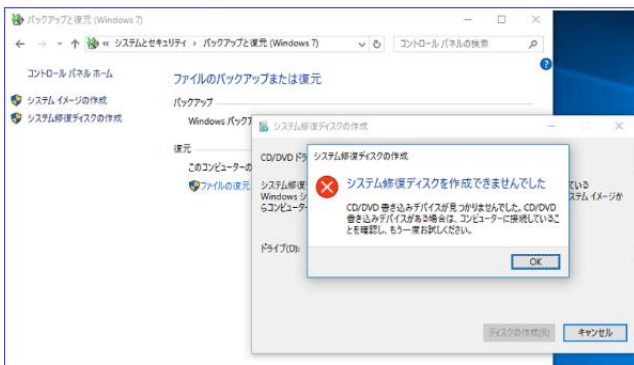


④ この段階で、ディスク媒体をセットします。

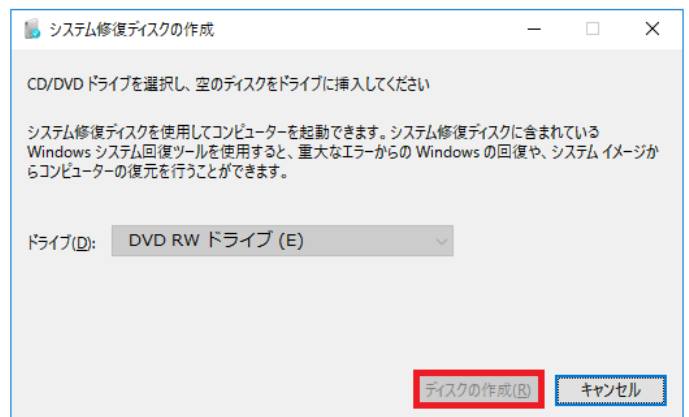
⑤ 「システム修復ディスクの作成」 をクリックします。



※ディスクを要せずに⑤をクリックするとこんなエラー画面が表示されます。



⑥ 「ディスクの作成」 をクリックすれば出来上がりです。



システム修復ディスクを使った起動

- ① 作成したシステム修復ディスクをCDドライブにいれて起動させる。
- ② Windows起動時に「F8」を連打する。
- ③ 「詳細オプション」 > 「コンピューターの修復」を選択し「システム修復ディスク」から起動します。

つまりハードディスク異常によりWindowsが起動できない状態でも、システム修復ディスクの使用は出来るのです。



●システムの復元

Windowsが立ち上がっていないのであればできなかった復元ポイントへの復旧が修復ディスクから可能となります。

もちろん、事前に復元ポイントが作成されていることが条件です。

これさえ出来れば、「無事に動いていた時点へ戻る」ことができます。

後先逆ですが復元ポイントの作成方法はコチラ

⇒[Windows 10でシステムの復元ポイント作成を、画像で簡単解説](#)

●イメージでシステムを回復

これが上でもお話した、「事前にとっていたイメージファイルからの復元」するモードです。

この方法でイメージバックアップをしておく必要アリです。

[Windows10の標準機能でOSをまるごとバックアップする方法](#)

●スタートアップ修復

こちらはWindowsが正常起動できないときに自動でこの機能に突入することもあります。

かなり有用なツールなのですが、時にかなりの長時間を要することもあります。

バックグラウンドで色々なチェックをしたり、フリーズと勘違いしてしまうほどです。

しかしディスクのアクセスランプが点滅しているときは絶対に強制終了などはしないように！

※この「スタートアップ修復」は一度だけでなく「何回か繰り返すと効果が高くなる」ことが多いです。

●コマンドプロンプト

文字通り、コマンドプロンプトが利用できますが、通常のものではなくこの「システム回復オプション」からのコマンドプロンプトのみ実行できるものがあります。

例えば“bootrec” コマンドです。 こちらの内容に関してはココでは割愛します。

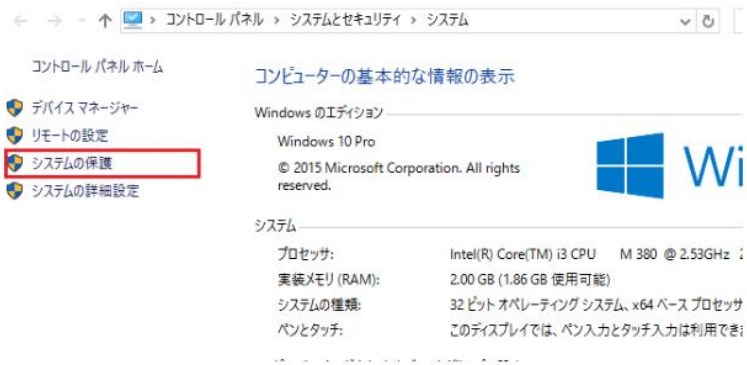
システムの復元ポイントの作成方法

① コントロールパネル

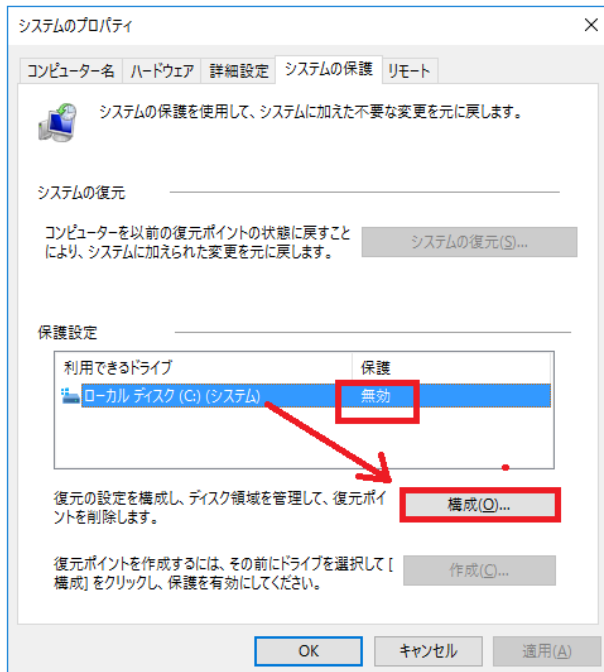
⇒ システム

又は PCを右クリック

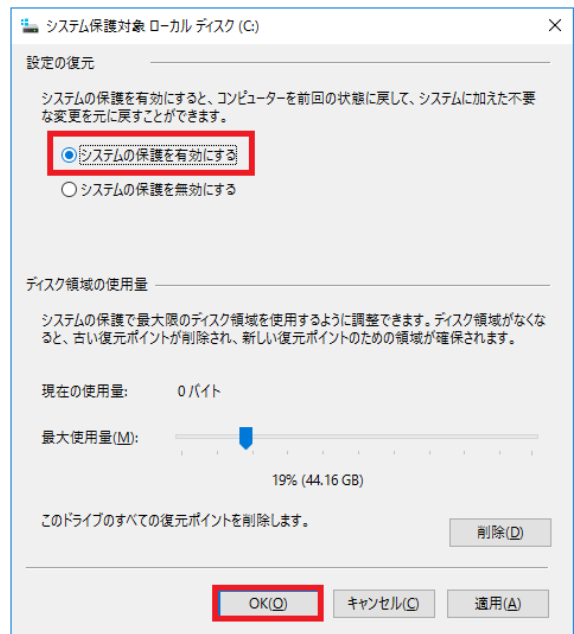
② 左側の「システムの保護」をクリックします。



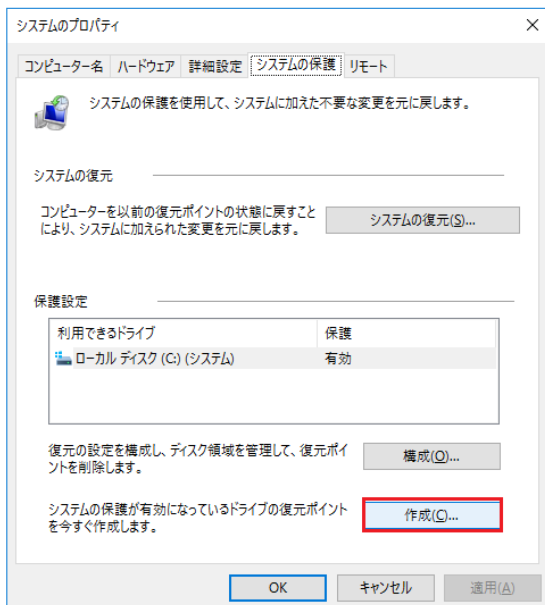
③ 保護設定欄の中のCドライブが、「無効」になっている場合は、「構成」をクリックします。「有効」の場合は、⑤に進んでください。



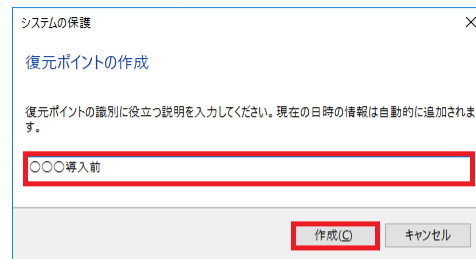
④ 「システムの保護を有効にする」を選択して「OK」をクリックします。



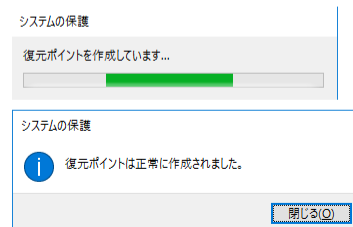
⑤ 「作成」をクリックします。



⑥ 復元ポイントの名前を付けて、「作成」をクリックします。日時は自動的に付与されるので、それ以外の情報を名前に入れてあげるほうが後々便利です。



⑦ 復元ポイントが作成され、無事に進めば完了してくれます。



「閉じる」をクリックして、そのままお待ちください。